

# 愛知36人 岐阜・三重も最多

# 国 爆発的感染

国内で六日、新たに六千四百人の新型コロナウイルス感染者が確認され、一日当たりの過去最多を更新した。六千人台は初。東京千五百九十一人、大阪五百六十人、福岡三百三十六人などが最多となった。

死者は大阪で十人、愛知、兵庫でそれぞれ九人など計六十五人。厚生労働省によると重症者は七百八十四人で、前日より十二人増えて最多を更新した。

愛知は三百六十四人で、初めて三百人を超えた。県内の五日時点の入院患者数は六百四十九人で、病床使用率は64.9%。特に名古屋市内で逼迫している。県によると、五日時点の確保病床は千床だが、県はさらに百一床増やし

岐阜は百二人で、初めて百人を超えた。確保済み病床の使用率は、今日一日から50%を超えている。

三重は三十二人。六日の病床使用率は51.0%と、昨年十二月七日以来三十日ぶりに50%を超えた。鈴木英敬知事は定例会見で「さらに感染が拡大する懸念もある。病床を一床でも二床でも増やす検討をしている」と明かした。

# 三重大病院元教授ら逮捕

## 第三者供賄疑い 機器見返り200万円

愛知・三重県警

三重大病院の医療機器の納入を巡って便宜を図る見返りに、自らが代表などを務める団体あてに業者側から賄賂を贈らせたとして、愛知、三重両県警は六日、第三者供賄の疑いで、同病院臨床麻酔部元教授の亀井政孝容疑者(四四)と大阪府天王寺区と同部元講師の松成泰典容疑者(四七)を京都府木津川市を逮捕した。

井政孝容疑者(四四)は大阪府天王寺区と同部元講師の松成泰典容疑者(四七)を京都府木津川市を逮捕した。

また、賄賂の疑いで、大手医療機器メーカー「日本光電工業」(東京)中部支店医療営業部長の下村篤司容疑者(四八)も岐阜市で同社社員三人も逮捕した。

逮捕容疑では亀井容疑者らは、手術室などに設置する心電図などを映し出すモニターを他社製から日本光電工業製に入れ替えるよう依頼を受け、一九年八月三十日、亀井容疑者が代表理事を務める一般社団法人「B.A.Mエンカレッジメン」(津市)の口座に二百万円を振り込ませたとされる。



国内で報告された新型コロナウイルス感染者が初めて5000人を超えたことを伝える東京・渋谷のテレビジョン。その後6000人を超えた。6日夜

は、宣言再発令の考え方でして、新型コロナウイルス感染症対策分科会が示す四段階の感染状況で最も深刻な「ステージ4(爆発的感染拡大)相当」を踏まえ、「全国的かつ急速なまん延によって生活や経済に甚大な影響を及ぼすかどうか」で判断すると明示。ステージ4に近い

新型コロナウイルスの新設サイト  
新型コロナウイルスのニュースと身近な対策を、ご覧になれます

# 古田氏、全遊説取りやめ

## 岐阜知事選きよう告示

下村容疑者らは共謀して二百万円を振り込んだとされる。県警は容疑者の認否を明らかにしていない。

両県警は六日、名古屋市中熱田区の日本光電工業中部支店を家宅捜索した。

亀井容疑者は臨床麻酔部長として医療機器の選定などの職務にあたっていた。

県警は、同社製が有利となるよう、一般競争入札で納入する、モニターの性能や規格などの条件を記した仕様の作成に参与したとみている。病院では手術室などのモニターを六年間かけて二十九セット計一億七千八百万円分を新調する計画になっていたという。うち三セットは昨年までに同社製品の納入が決まっていた。亀井容疑者の働き掛け

岐阜県知事選は七日、告示される。投票票は二十四日。出馬を予定する現職の古田肇氏(七三)は六日、県内の新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、公務を優先させるとして、選挙期間中の遊説を取りやめる方針を明らかにした。関係面

県内の新規感染者数は増加が続いており、「肝心な時に職を置いて当選のためと動くのは、使命感に反する」と述べた。「すべての(街頭演説や演説会などの)予定は参加しない」と語った。

陣営は、県内各地で集いや演説会を予定していた

から計四百万円の入金が確認されており、大半は飲食費に充てられていたという。

古田氏は不在で感染防止対策を取った上で行う方針。古田氏は、告示日の七日期に岐阜市内で記者会見を開いて決意を語る予定だが、その後は原則、県庁で公務に当たる。選挙期間中、その合間に知事室からオンラインを活用して演説などはするが大幅に運動を縮小させる。

古田氏は昨年十一月、「コロナ対策の継続」を理由に挙げて出馬を表明した。